

**平成29（2017）年度
研究、教育、社会・学会（研究会）活動報告書**

1. 研究（本年度のみ）

教員氏名 (ローマ字)	加藤 康 (KATO Yasushi)	職 位	教授	学 位	修士 (商学)
	専門分野	産業論・企業論			
研究課題	テーマ	サプライチェーンにおける倉庫の機能			
	概要	サプライチェーン、ロジスティクスに組み込まれた倉庫の意義、機能に関する実証的研究			
本年度 研究業績	研究費	総額： 72.5 万円 内訳：個人研究費 22.5 万円 / 科学研究費 50 万円 企業補助金 円 / そ の 他 円			
	研究テーマ	サプライチェーンにおける倉庫の機能			
	経過と到達点	今年度は、倉庫を軸とするロジスティクス研究との関連において、また科研費研究グループのメンバーとして、実態調査をふまえて日本経営学会にて報告を行うことができた。次年度は引き続き、学会発表、書籍の出版が課題になる。			

(1) 著書

	著書名	発行年月 (西暦)	発行所等の名称	概要
① 単著書				
② 共著書				
③ 単訳書				
④ 共訳書				

(2) 論文 等

	論文等の名称	発行年月 (西暦)	単・共著 の別	発表雑誌等	概要
⑤査読付 論文					

⑤ 紀 要 論 文	「タイミングコン トローラー試論」	2017 年 11 月	共著	『同志社商学』第 69 卷第 3 号	本稿では、素材生産企業から完 成品企業へのサプライチェー ンに介在する物流基地への豊 富な実態調査をふまえて、その 存在意義についてタイミング コントローラーという視点か ら把握することを試みた。
⑦研 究 ノート					
⑧翻 訳					
⑨資 料 (書評)					
⑩調査報告					
⑪被引用 (他文献)					

(3) 第三者（文部科学省、経営団体、企業 等）により認証された研究

	研究テーマ (代表研究者名)	期間年月 (西暦)	研究項目の名称 (文科省科研費等)	概要
⑫単独研究				
⑬共同研究 (代表)				
⑭共同研究 (代表以外)	サプライチェーンにお けるタイミングコント ローラー—市場適応方 法の比較研究—	2015年4 月 ~ 2020 年 3 月	文科省科研費基盤研究 (B)	本研究の目的は、サプライチェーン における生産と販売の接触面（イン ターフェイス）に焦点を当てて、供 給企業及び需要企業の競争力向上 を促す企業について考察すること である。今年度は昨年度における造 船用厚板のサプライチェーンの調 査をふまえて、薄板、樹脂、紙等を 対象として、メーカー、商社等をヒ アリング調査を積み重ねることが できた。

2. 教 育 (本年度のみ)

担当科目		前 期	後 期
		科目名	科目名
講義		オムニバス講義、経営学総論、中小企業論、経営経済特別講義Ⅰ、経営経済特別講義Ⅲ、	企業論、経営英書購読Ⅰ、経営経済特別講義Ⅱ
演習		基礎ゼミナール、ゼミナールⅡ、経営学演習Ⅰ	ゼミナールⅢ、経営学演習Ⅱ
実習			
教育内容・方法 の工夫	◆ 講義科目	本年度は、前年度に引き続き1回生前期配当「経営学総論」を担当し、自身のスキルの幅をいっそう広げることができた。「企業論」では、前年度までと同様、経営分野の基礎的理解とともに、サプライチェーンに関連する論理と多様な実際のありようを紹介することに重点をおいた。出席確認は行わず時折アンケート等の提出を求めるに留め、学生が自主的かつ継続的に出席するよう促した。今年度は前年度にまして講義時の私語に対する厳重な注意を行った。	
	◆ 演習科目	2016年度生は、ゼミ合宿（滋賀県高島）を行い、卒業研究中間報告、釣り、散策等積極的な交流を行った。今年度もグループ単位(今年度は5グループ)でのヒアリング調査（松栄堂、京うちわ阿以波、伊藤久右衛門宇治本店、大阪花卉地方卸売市場、ふらわー城之内、小川珈琲、チェリオコーポレーション、ダイドードリンコ、アランシア、パティスリーゼロ、ドロキア・オラシイタ、三和鋳螺、茨木ナミテイ等）を行い、充実したゼミ運営を行うことができた。ゼミ内5班の成果を前年度に引き続きゼミ論集として製本する。2017年度入学生に対しては、工場見学（明治大阪工場:12月22日実施）及び交流会を行った。	
	実習科目		
	◆ その他（教科書・教材等の作成を含む。）		

3. 社会・学会（研究会）活動 等（本年度のみ）

(ア) 社会活動

分 類		活動・講演の概要
①地域研究活動	代表	
	理事	
	幹事	
②講演（教育機関・企業等）	学外	
	学内	
③シンポジウム等の企画 （教授会承認事項／1本）		

(イ) 学会・研究会活動

分 類		活動・講演の概要（時期）
④学会運営	代表	
	理事	
	幹事	アジア経営学会評議員、同学会機関紙電子化委員、及び同学会第 25 回大会実行委員として学会の運営に携わった。
⑥ 学会報告		日本経営学会関西西部会第 632 回例会（於同志社大学：2017 年 10 月 21 日）にて「ロジスティクスとタイミングコントロール」というタイトルで報告を行った。
⑦ 司会・コメンテーター		アジア経営学会第 24 回全国大会（於東北大学：2017 年 9 月 9 日）杏林大学木村有里氏の報告「2014 年クーデター後のタイ社会と日系企業の役割」にて司会を担当した。 アジア経営学会同上大会拓殖大学吉野文雄氏の報告「中国企業の東南アジア進出—日本企業との比較—」にて司会を担当した。
⑧ 第三者認証研究会 運営		
⑨ 第三者認証研究会 報告		産業学会自動車産業研究会中部地区 2017 年度第 1 回研究会（於京都大学：2017 年 4 月 22 日）にて富野貴弘著『生産管理の基本』（日本実業出版社、2017 年）の書評を報告した。 文科省科研費基盤研究研究会（於同志社大学：2017 年 9 月 29 日）にて「ロジスティクスとタイミングコントローラー」というタイトルにて報告を行った。
⑩ 一般研究会 運営		
⑪ 一般研究会 報告		
⑫ 学経営情報学会 報告		「ロジスティクスとタイミングコントローラー」2018 年 3 月 12 日報告

4. 特記事項（本年度のみ）

